

A A B C



令和 5年 5月22日 (月)

人(仲間)を大切に、「聴く」を大切に

最近のみなさんの生活をみていると、落ち着いて学習をしていたり、提出物を出し切ったり、声のかけ方を意識したり、レベル5のあいさつを実行したりと、昨年度に比べて多くの成長がみられます。1年生のみなさんもあっという間に中学校生活に馴染み、あいさつや授業を受ける姿勢など、中学生として立派にできるようになってきたと思います。そしてそれらは、3年生、2年生のみなさんが普段から「AABC」を意識し、当たり前に行っていることが八次中学校の伝統になってきているからだと思います。体育祭の練習を見ているとそれらの姿勢が表れています。まさに「背中で語る」ですね。

さて、みなさんはこれまでに、話し合いの中などで相手の態度や反応をきつく感じたことから、その時の感情で相手をさげすむ言葉を使い、さらにはケンカに発展するという経験をしたことはありませんか。これから梅雨に入り、ジメジメしたり急に暑くなったりして集中力が切れやすく感じる時期になってきます。学校生活の中で、今までだと受け流せたことでもイライラして相手にきつく当たってしまうような場面があるかもしれません。だからこそ、普段以上にしっかりと相手の気持ちを考え、自分が話す言葉、行動にも責任をもち、相手の話をしっかり「聴く」ということを大切にしていってほしいと思います。

「聴く」とは、「耳」＋「目」と「心」で相手の話を聞くことです。知っている人もいるかもしれませんがね。今、体育祭の練習の真っ最中です。暑い中、みんな明るくさわやかに本当によく頑張っています。相手の話をしっかり「聴く」を意識して、思い出に残る最高の体育祭になることを期待しています。あわせて、校長先生がいつもおっしゃっている「自分がされて嫌なことは人にはしない」も徹底していきましょう。



◆ ◆ ◆ 体育祭練習風景 ～全校生徒みんなキラキラ輝いています～ ◆ ◆ ◆

